

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 気道閉塞圧 P0.1 は人工呼吸器離脱評価に有用な情報となり得る

[当院研究責任者] 部署名 臨床工学部 氏名 小山昌利

[研究の概要]

【背景】 人工呼吸器離脱における評価は様々なパラメータが用いられており、その中で呼吸困難感は重要な評価項目の一つである。気道閉塞圧（以下 P0.1）は、呼吸中枢出力の指標として呼吸困難と関係があるとされている。しかし人工呼吸器離脱時に P0.1 を評価した研究は少なく、離脱指標となる値も研究によって大きく異なると同時に人工呼吸器の進歩が測定にも影響している可能性がある。人工呼吸器離脱時に P0.1 を計測しており離脱の指標として先行研究の結果と異なる可能性があり、P0.1 が有用な情報となり得る場合は離脱評価の重要な項目になると考える。

【目的】 この研究は人工呼吸器離脱評価（以下 SBT）を 30 分間行い離脱評価し P0.1 を測定した症例の人工呼吸器離脱時の結果から 2 群にわけ検討することで P0.1 が有用な情報となり得るか、また指標について明らかにすることを目的とした。

[研究の方法]

- 対象となる患者さん：2018 年 5 月から 2021 年 5 月に当院集中治療室に入室し人工呼吸器を 6 時間以上使用された患者さんにおいて、SBT を 30 分間行い離脱評価した患者さん
- 研究期間：実施許可から 2024 年 5 月まで
- 利用する検体、カルテ情報：診断名、診療科、年齢、性別、身体所見、自発呼吸換気量、分時換気量、人工呼吸器離脱の可否、呼吸数、RSBI (Rapid shallow breathing index)、P0.1、重症度スコア (APACHE2)、人工呼吸器設定項目
- 利用する検体、カルテ情報の管理：情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

収集する情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 臨床工学部 氏名 小山昌利

電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139